

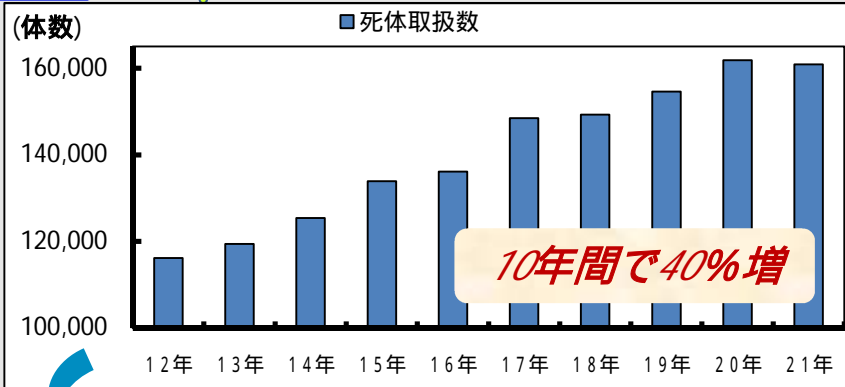
1 治安水準の更なる向上のための総合対策の推進

(2)客観証拠重視の捜査のための基盤整備

警察における死因究明に関する取組みの推進 要望額：131百万円

現状

死体取扱数の増大



相次ぐ自殺偽装事案の発生

富士見市における睡眠導入剤等使用殺人事件
無職の女(35)は、車両内において、男性に睡眠導入剤等を服用させた上、練炭を燃焼させ、男性を一酸化炭素中毒により死亡させたもの。
(21年8月5日、埼玉)

鳥取市における睡眠導入剤等使用連続強盗殺人事件
無職の女(36)は、男性に睡眠導入剤等を服用させて意識もうろう状態にし、河川内に入水させるなどして窒息させて殺害し、債務を免れたもの。
(21年10月6日、鳥取)

検視等で看破!

でも、見逃していたら...

今でも殺人犯が街を
大手を振って歩いて
いたかも知れない!!

39件の犯罪死見逃し事案発覚 (H10~20)

対策

有識者による検討

犯罪死の見逃し防止に資する死因究明制度の在り方に関する研究会 第1回会議



今後5年を目途に
実現すべき目標値等

臨場率20% **50%** } 検視官増強
警察署への支援強化
全死体への薬物検査の実施
解剖率10% **20%** 等

検視官～死体取扱いの専門警察官

(死因究明制度研究会中間取りまとめ:22年7月)

23年度予算に反映

検視・死体見分体制の強化

検視官等の養成・訓練

科学的手法による検視の遂行

検視官臨場率等の推移

